

# 平成29年度 第三回家庭教育学級講演会実施報告

(世田谷区立八幡小学校PTA)

11月11日土曜日、ジャーナリスト吉井妙子氏をお招きし、本年度第三回家庭教育学級を開催いたしました。当日は保護者の皆様、先生方、スタッフを含め総勢45名の方にご参加いただきました。

## ◆講演『天才は親が作る—子供が一歳なら、親も一歳』

子育てに正解はない！というが、一流スポーツ選手の親御さん取材を通じて見えてきた共通ルール。天才アスリートと呼ばれる選手、その世界ではトップまでの登りつめた選手を育てた親御さんたちは、一体どんな子育てをして、天才を世に送り出したのか。吉井氏が取材を通じて見つけ出した子育てのルール30項目のうち、今回は”ルール10項目”をお話いただいた。

平野美宇選手(卓球)、池江璃花子選手(水泳)、大谷翔平選手(野球)、桐生祥秀選手(陸上)、白井健三選手(体操)などの親御さんたちの取材話に加え、起業家として成功をおさめているリブセンス社長、ユーグレナ社長、ライザップ社長、ライフイズテック社長の親御さんたちの取材裏話までお話いただいた。吉井氏曰く、アスリート選手を育てた環境と、起業家を育てた環境は共通することが大変多く、子育てにすぐ役立つ事が多いのでぜひ実践してみたいとの事でした。

## ”ルール10項目”

ルール1: 小さい頃から自分で決めさせる(親は問いかけるだけ、子供に考えさせる)

ルール2: 褒めて育てる(自己肯定感を持たせる)

ルール3: ~してはダメと言わない

ルール4: 子供のときから成功体験をさせる

ルール5: 繰り返し練習を怠らない(ゲーム感覚でコツコツやらせる)

ルール6: 負けず嫌いにさせる環境(上の兄弟とライバル関係、上に兄弟がいない場合は父母がライバル関係に)

ルール7: 子供との時間を多く持つ(時間の長さではなく濃さで。父親も子育てに当たり前のように参加)

ルール8: 怒るのではなく叱る(感情的なのは怒る、叱るとは違う)

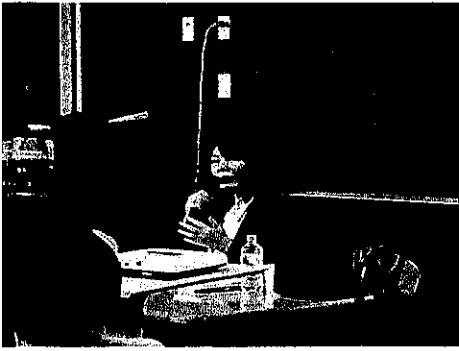
ルール9: 子供目線で話す

ルール10: 振り返れば子育ての時間が一番楽しかったと思うこと

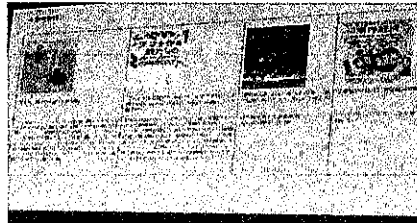
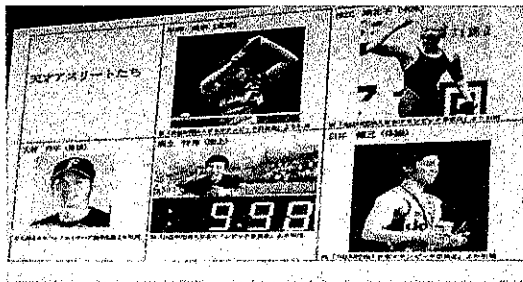
## ◆質疑応答タイム

保護者の方から吉井妙子氏へ以下のような質問がありました。

- 1 日本の子供である以上、共同生活もしなくてはならず、負けず嫌いなどの個性が和を乱す、または協調性がないなどのマイナス評価にならないか。  
>> 世界で活躍する選手ほど日本的美徳を持っている。アスリートの親はトップにさせたいわけではなく、社会性を勉強させるためにスポーツをやらせている。仲間との大切さ、先輩後輩などの人間関係を当たり前のよう学んでいて、みなさん本当にいい性格です。
- 2 三年生の子供は自分で何かを決めると、すぐ辞めたいなど言い、飽きっぽいのが悩み。  
>> 三歳から八歳はプレゴールデンエイジ。何でもやらせてみてください。  
色々興味を持つ歳なのですから、あともう少し(一~二年)は見守ってあげてください。  
ちなみに九歳から十一歳がゴールデンエイジ。この頃からやる事を絞っていきます。



↑取材秘話を盛り込みつつ  
楽しいお話をしてくださった吉井氏



←(左)取材した主な選手  
(右)吉井氏の主な著書

講演会后、最後にご参加いただいた皆様アンケートにご協力いただき、閉会しました。  
アンケートの結果は全員が「とても良かった」「良かった」との高評価でした。